

晴耕雨読 56

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
 建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
 ・補償コンサルタント登録
 〒869-1234 【※本社が北区弓削に移転しました】
 熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
 本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
 TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
 E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

せきすいせいえん 「積水成淵」 少しの水でも、それが積もればやがて淵になる意味から、小さな力でも力を結集すれば大きな力になるという意味。【努力】が大切です。

私たちのおすすめスポット Recommended Spot

Vol.56 Jan 2020 seikouudoku

あけましておめでとうございます。今年は『子年』にあたり、再び新しい十二支が始まる年です。



令和2年1月1日晴天!
 噴煙は北から南へ。阿蘇五岳がはっきりと見えた。大津(引水)から見える阿蘇山を独り占め。h/n

薪を焼べる



餅つきに必須のかまど。年に1度の出番のため、火を入れるとパチパチと真っ赤に炎が燃え上がり、たちまち周りには人が集まります。餅つきの準備をするのが、正月を迎える我が家の大切な行事となっています。h/n



音のある風景

毎朝、目が覚めると玄関横の古い椅子に座って一服するのが、私の長い習慣です。寒い冬の朝は、あちらこちらから鳥の鳴き声が聞こえます。鳥の種類を想像しながら、過ごす祝福の時。h/n



新町の地域づくり団体からのオファを受け、「炭屋」で皆さんと一緒に歴史文化を学ぶ会に参加。若者からシニアまで多士済々。パワーすごい

凡人徹底を意識！ 検索

本書で凡事徹底とは、日常におけるありきたりな事を徹底的に行い、それを継続するという意味で使われています。例えば掃除について、ほどほどに満遍なくやっても意味はなく、一箇所を徹底的に掃除し、掃除前と後の場所がはっきりわかるくらい取り組む。そんな徹底的な取組みと継続により、「気づき」が得られるとあります。微差を積み重ねることが、最後には大差になるそうです。夏目漱石の言葉「世の中は根気の前には頭を下げることを知っている。火花の前には一瞬の記憶しか与えてくれない。だから、牛のよだれのように根気よくやりなさい」。今年は凡事徹底を意識して生活したいと思います。k/s



THE LOCAL BURGER★
 期間限定に弱い私... この日は期間限定のエビチリバーガーをチョイス!!

麦わらの一味 ヒノ国復興編



阿蘇市に設置されたウソツブ像。寒い時期に設置されたので、まだ見に行かれないかたも... 2020年は新たに4体設置されるそうですね。是非すべて訪れたいですね。a/m



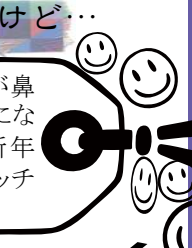
年始のおみくじに『出費の多い年』とのお言葉が... 気持ちを引き締めよう!! 財布もt/b

七草粥 「美味しく頂きました」

年が明けてから、アツという間に10日が過ぎました。七草粥を食べ無病息災を願います。



わかっちゃいるけど... 期間限定に弱い(;V;) ほんのりヒノキの香りが鼻からぬける感じがクセになりそうな『升珈琲』新年の期間限定というキャッチに負けて注文しました。



復興への願いをこめて～阿蘇神社～



熊本地震で被災した阿蘇神社も復旧作業が着々と進んでいました。完全復旧までは遠い道のりですが頑張って復旧して貰いたいと願いを込めてお参りしてきました。n/m



身近な環境への思い

自眉(じまゆ)?
 本年は、我が家に初めて門松を作り、年神様をお迎えしました。もう一つ、新年の新聞で心に響いた話題がありました。細川元知事が構造計画研究所の服部正氏の語録で自眉だと称された「世の中で一番贅沢なことは人の為に一生涯懸命尽して、その人の喜ぶのをひそかに見て楽しむことだ」の言葉です。物づくりに携わる我身に重ねて「イイネ!」a/t



Human Architectur

朝霧に浮かぶ崎津天主堂



元旦は、天草地方でも氷点下近い寒さとなりました。天草市崎津の羊角湾では、早朝に気温と海水温の差が大きいと発生する気嵐とも呼ばれる霧が発生。海面からは霧がゆらゆらりと立のぼり、ゆっくりと風に流されながら段々と濃くなって湾内を包み込んでいきます。世界遺産の崎津集落や海辺に佇む漁船やゴシック様式の崎津天主堂が霧に浮かび上がる幻想的な光景が広がっていました。気候温暖な天草地方で普段見られない珍しい風景は、観光客にとってもうれしく、多くの人が写真撮影していました。元旦、早朝からのサプライズに今年は何か良いことがありそうと予感させる一日でした。b/i

身近な土木文化への思い Civil Engineering

擬宝珠



大宰府市内の橋梁高欄は、朱塗り柱の上に伝統的な擬宝珠が施されたデザインで統一されています。歴史・文化の深い大宰府天満宮内の池に架かる過去・現在・未来(三世一念)を表す3つの橋の高欄と同じで、歴史的・文化的遺産を有する観光都市であることから、歴史・文化に配慮した景観形成を図る取り組みを行っている様です。現時点では、明確な理由は良く分かりませんが、このような歴史・文化や風土・景観を観光資源として活用していくことや、歴史・文化的価値を大切に土木・建築技術を次世代に伝えていくことが必要だと思います。t/m

熊本の鋼橋 (No. 15)



急ピッチで進む「阿蘇大橋架替」(国道325号) 令和3年3月開通予定 PC3径間連続ラーメン箱桁(ディバダーク工法) 建設中です。復興の目途が見え始めました。n/s



令和2年1月5日撮影【阿蘇大橋】

冬の風物詩! 【大根やぐら】



宮崎県宮崎市田野町では、お正月をまたぐ12月から1月になると、漬物用大根をやぐらに干す「大根やぐら」がそこかしこの畑で見られます。やぐらは、高さ6m長さ50mほどに竹で組まれ、葉っぱがいた状態の大根を2本セットにして掛けます。南にそびえる鰐塚(わかづか)山からの冷たい風(鰐塚おろし)に吹かれ、太かった大根が1週間から10日ほどで干し大根へと変わっていきます。「大根やぐら」は観光スポットとして訪れる方も多く、冬の風物詩となっています。m/k

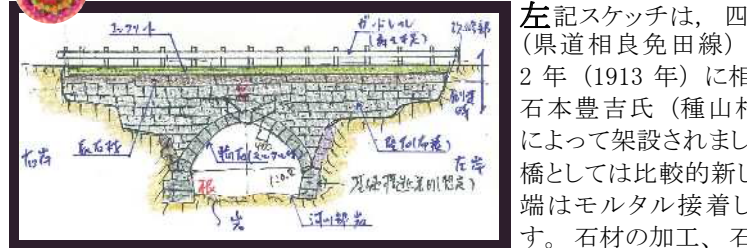


40年以上も一緒に寒い日が続きます。シンビジュームが今年も蕾を付けました。この株は40年以上わが家に居ることになります。普段は忘れられ、株分けも覚えが無いくらいですから、鉢からあふれそうです。それでも、長年の風雪と逆境に耐え健在です。鉢を割られる前に今年こそ新居に移そうと思っています。m/t

写真の消防小屋は、昭和32年の築造で、その当時球磨地域に工事が居たことが伺える。

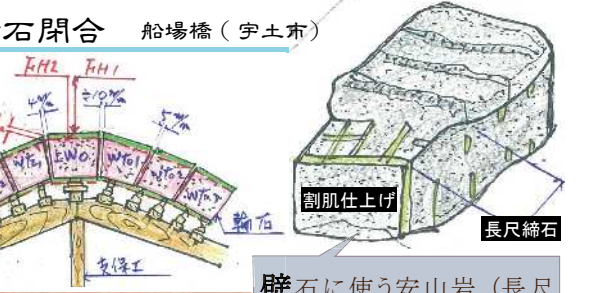
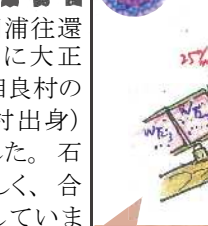


あさぎり町指定文化財【大正橋】



左記スケッチは、四浦往還(県道相良免田線)に大正2年(1913年)に相良村の石本豊吉氏(種山村出身)によって架設されました。石橋としては比較的新しく、合端はモルタル接着しています。石材の加工、石材のかみ合わせ、基礎石の仕上げなど一つひとつ丁寧に施工されており、架設後100年以上経過した今でも大きな損傷はありません。生前、自分の息子に大正橋を見本にせよと伝えたように、本当に良くできた石橋です。先人たちの後世への思いを強く感じました。土木技術に係るものとして、先人たちの技術、知恵を学び少しでも後世へ伝えることが重要と考えます。k/n

輪石閉合



壁石に使う安山岩(長尺縮石)は溶結凝灰岩に比べ、粘りが強い分手間を要す。割肌仕上げは、表面を叩いて割った様に仕上げため、石面を700度で熱して割る工夫を施した。

後記:熊本地震から3年9ヵ月。復興への足跡が見え始めました。報道によると国道57号線北側ルートの開通、豊肥線の開通の目途がたつようです。これらの社会インフラは、復興のシンボルであり、命の道でもあります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。お陰様で、令和元年度熊本県優良業務表彰を受けました。